



12月度定例会報告 チェックリストテーマ5「防災支援都市」



12月度定例会は、「防災支援都市」チェックリストをテーマに、相模原市危機管理局緊急対策課より遠山担当課長にご出席いただき、開催されました。

まず、遠山課長より、自己紹介も兼ねて「自治会長も経験していることから自治会（コミュニティ）を有効に利用した危機管理対策・共助についても関心がある」ことなどのご挨拶があり、危機管理局の役割・事業として、「九都県市合同防災訓練」の内容紹介、地区防災計画・ハザードマップの策定状況、「災害時の相互応援協定」（11月の長野県北部地震では「現地支援本部設置担当都市」として行動）などの説明がありました。

この内容を踏まえ、中嶋会長・桑島・長崎・遠山担当課長の今回のチェックリストの説明があり、『「防災支援都市」となるためにも、防災条例を活用し安全安心のまちづくりを進めていただきたい。』『「防災支援」だけでなくシティセールスの観点からも、都産研で高く評価している「医療インフラ」の整備・拡充を図るために行政も後押しをしていただきたい。』『「自治会・PTA」の活動・加入率の地域差を、防災を切り口にすることで、全体としての活性化・均衡化を図れるのではないか。』などの提案がありました。

意見交換では、JアラートとLアラートの整備と緊急放送設備の拡充、市民への初期行動カード配布、防災備蓄の現状と市民・企業を含めた今後の展望、「災害時の相互応援協定」活動が「防災支援都市」としての経験の蓄積となるのではないか、などの議論が上りました。

遠山担当課長から、合同防災訓練時に安倍首相が「駅前このような広大な土地があるのか」と驚かれたのに対し、加山市長が「広域交流拠点としてこの場所を整備していきたいと国に要望している」と応じたことも披露され、また、「これまで危機管理をシティセールスという側面から考えるということが抜けていたかもしれない。」との発言もあり、都産研でこれまで積み重ねてきた議論の方向性が正しかったことを再確認することができました。（桑島克也）

2月度津久井エリア視察研修会 in 城山のご案内

2月度は、毎年恒例の津久井エリアへの視察研修会を開催いたします。視察先は「本沢ダム」や「宮ヶ瀬ダム」、「相模原IC工事現場」を予定しております。

宿泊を伴う視察会となりますが、是非ともご参加ください！！

（担当：安西理事、平栗理事、荒井会員）

○日時 平成27年2月20日（金）～21日（土）

○場所 旧城山町内（宿泊先：桂川亭）

○視察先 本沢ダム、宮ヶ瀬ダム、相模原IC工事現場



「相模原流」が日本の憧れの的になることを願って（2015年1月8日新年会中嶋会長挨拶）

新年明けましておめでとうございます。

本格的な政治主導による日本の新たな戦後の国家サイクルが始動し始めた年が2014であったと思います。2015は、こうしたサイクルの準備段階であり目先の利得にとらわれない助走の始まりだと思えます。

最近大きな地震や火山活動や急激な気象による土石流などの災害が目立ちます。12月に起こった長野県白馬村付近の最大震度6弱を観測した地震を覚えているでしょう。私は、そのころ山梨県北杜市にいました。第1波はそれなりにゆれました。TVをつけると白馬村距離的には非常に近い。しかし、震度分布をみて、浅層の震源だとおもいました。発表された震源は10Kmでその通りでした。この場合巨大な反復地震とはならないと思えました。これは、都市産業研究会で地震などについて研究したことが判断に役立ったところです。地震動については、マグニチュードと震度をニュースでよく聞くとします。マグニチュードとは、エネルギーの大きさのことです。大きければ大きいほど地震を引き越す力が大きい。一方、震度は観測地点の地震の揺れ方です。

1978年のアメリカ映画にBIG WEDNESDAYがあります。1960年代初め、ベトナム戦争が泥沼化する中、カリフォルニアの海辺の町で、3人を中心とする若者たちで作るサーフィン・グループは、水曜日にやって来るといって世界最大の波“ビッグ・ウェンズデー”に挑戦することを夢見ていたという内容です。

サーファーの若者のライフスタイルが好きだった。中で、波乗りをしている主人公たちを見て、ある青年がこういいます。「Look at that! That's his attitude.」（見ろよ！あれが、彼の乗り方だ。）アティチュードいい言葉です。

我が都市産業研究会はSWOT分析を行なった2006年から数えて9年目です。研究会が考える相模原像を会員が共有できたことと思えます。

そこで私は、思いました。都市構造を変えるのもいい。リニアが来るのもいい。しかし、振り返ってみると、相模原は、もともと他都市から見てうらやましいほどのまちなのではないか？相模原に知名度が無いや、へそが無いから何がいけないのか。私たちは、愛してやまないまち「相模原」の人であることに自信を持ち「さがみはら流=Sagamihara Attitude」を貫けばいいのだと思います。皆さんが他都市にいったとき相模原を知らなかったら、強力な自信（じしん）のマグニチュードで「さがみはら流」を大きな自信度（じしんど）で教えてあげてください。



皆様にとって本年が実り多く幸多い歳となりますことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

都市産業研究会 会長 中嶋 幸夫

都産研ラジオ番組のご案内

都市産業研究会では、相模原や日本の未来についての提言を考えるラジオ番組「一緒に考えよう！相模原の未来 日本の未来」(エフエムさがみ 83.9MHz)を制作、放送しております。今月は、2月の視察先でもある城山商工会の青年部の皆様をゲストに迎え、城山地区のまちづくり

や青年部さんの活動についてお話を伺いました。どうぞ楽しみに！！



放送スケジュール 2月 放送日…2月14日(土) 21時～22時 / 再放送日…2月15日(日) 10時～11時

都産研ラジオ番組の過去放送分を **YouTube** 上にて公開しております。

YouTubeへはこちらから！

QRコードまたは YouTube 上で「都産研」と検索の上、是非ご聴取下さい！！



本番組のスポンサーとなっただけの企業を探しております。ご支援いただける企業がいらっしゃいましたら是非都市産業研究会事務局までご連絡ください。FMさがみで素敵な会社コマーシャルをお流しいたします。

事務局はこちら：相模原商工会議所総務課 糠谷 佳文

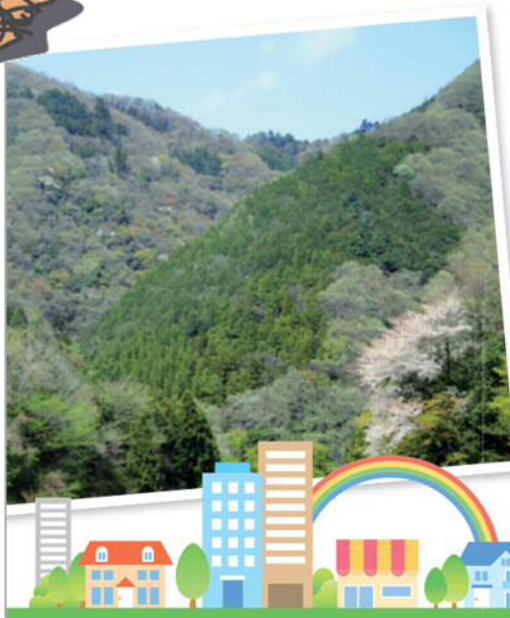
TEL:042-753-8131 FAX:042-753-7637 mail:y-ukaya@sagamihara-cci.or.jp

今後の予定

		平成26年度	活動スケジュール			
月	会議	内容	定例会開催日(予定)	行事等	○担当 ☆招聘者	
2	定例会	津久井エリア視察研修会in城山	2月20～21日		○ 担当	安西理事、平栗理事、荒井会員
3	定例会	役員会・定例会 平成26年度事業のまとめ	3月11日		○ 担当	全役員



都市産業研究会の提言書もみてね！



都市産業研究会2014提言書

相模原の15年後 チェックリスト

🐾さがみはら・グリーン・コンパクトシティを目指して🐾

この提言書について

この提言書は、相模原市の現状を捉え15年後の課題等を考えていくものです。相模原市の特徴を理解し、持ちうるポテンシャルを十分に発揮するために、都市産業研究会の考える未来像「グリーン・コンパクトシティさがみはら」を実現するための「チェックリスト」を、産業人の立場からまとめました。都市産業研究会では、今後の大きく変化する社会情勢や自然災害への備えについて、「より良い相模原市」の為に、商工会議所の提言団体としての役割を果たしていきたいと考えております。



都産研イメージキャラ
とさん犬

